

科目区分	専門分野	授業科目	生活援助技術Ⅰ (コミュニケーション、環境調整、感染防止、活動・休息)
講師名	岡本 諭	開講年次	1 年次 第 1 学期
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)		
授業概要 * 講師からのメッセージ	看護の基本的な技術を学びます。技術の修得には、知識の定着とともに反復練習が必要になります。自己学習時間を活用した練習を期待しています。		
目的：対象の理解と看護実践の基礎となる基本技術を習得する 目標：1. 看護技術の概念について知る 2. 看護の対象に対する、安全と安楽を確保する技術が実施できる 3. 看護技術を行う基礎となるコミュニケーション方法を学ぶ 4. 環境調整の意義が説明できる 5. 環境調整の援助技術が実施できる 6. 活動・休息・睡眠の意義が説明できる 7. 活動の援助技術が実施できる			
回	授 業 内 容		
1【講義】	1. 技術の概念 (安全、安楽、自立) 1) 看護技術とは 2) 看護技術の特徴 3) 看護技術を適切に実践するための要素 2. 看護技術の提供と倫理的配慮		
2【講義】	2. コミュニケーション 1) コミュニケーションとは 2) コミュニケーションの基本原理と構成要素 3) コミュニケーションの種類 (1) 言語的コミュニケーション (2) 非言語的コミュニケーション 4) 関係構築のためのコミュニケーション 5) 効果的なコミュニケーション (1) 傾聴 (2) 情報収集 (3) 説明・指導 5) コミュニケーションに必要な能力・態度		
3【講義】	3. 感染予防の技術 1) 感染防止の基礎知識 (1) 感染成立の条件、院内感染の防止 (2) 感染拡大防止の対応 2) スタンダードプリコーション (1) 手指衛生 (2) 個人防護用具 (3) 患者ケアに使用した器具 (4) 環境対策 (5) リネン (6) 鋭利なものの取り扱い (7) 救急時の対応 (8) 患者配置 (9) 呼吸器衛生／咳エチケット 3) 感染経路別予防策 (1) 基礎知識 (2) 接触・飛沫・空気予防策 4) 感染性廃棄物の取り扱い感染とその予防の基礎知識		
4【演習】	標準予防策 (スタンダードプリコーション) の実際 <演習> ・手指衛生 ・個人防護用具の着脱		
5【講義】	4. 環境調整技術 1) 人間と環境 2) 病室の環境のアセスメントと調整 (1) 病室・病床の選択 (2) 温度・湿度 (3) 光と音 (4) 色彩 (5) 空気の清浄化とにおい (6) 人的環境 5. 療養環境について考える―快適な環境とは― 1) ベッド周囲の環境整備 (1) 環境整備の目的 (2) 環境整備に必要な物品、環境整備の方法 2) 療養環境の環境測定		

6【講義】	6. 活動援助技術 1) 基本的活動の基礎知識 (1) よい姿勢 (2) 日常生活動作 (3) ボディメカニクス 2) 体位・保持 (1) 基本体位 (2) 特殊体位 3) 体位変換 援助の基礎知識、援助の実際
7【講義】	7. 病床を整えるための知識 1) マットレス・枕・リネンの条件 2) ベッドメイキング 8. 環境調整技術 1) 病床環境を整える技術 2) 病床を整える技術 (1) ベッドメイキング (2) リネン交換、リネンの取り扱い・方法
8【演習】	一人でのベッドメイキング
9【演習】	一人でのベッドメイキング <演習>
10・11 【演習】	臥床患者のリネン交換 左右への体位変換・安楽物品を用いた体位保持を含む
12 【技術試験】 (45 分)	臥床患者のリネン交換 <技術試験> ・臥床患者のリネン交換 ・仰臥位から左右側臥位への体位変換 ・安楽物品を用いた安楽な体位の調整 ・快適な療養環境整備 ・安全な療養環境の整備（転倒・転落・外傷予防）
13【講義】	6. 活動援助技術 1) 移動 (1) 援助の基礎知識と実際 2) 移乗・移送 (1) 車椅子を用いる場合 (2) ストレッチャーを用いる場合
14・15 【演習】	車椅子移乗・移送 <技術習得度確認> ストレッチャーへの移乗、ストレッチャー移送 <演習>
【筆記試験】 (45 分)	修了試験（45 分）
授業方法	講義、演習
評価方法	技術試験（50％）筆記試験（50％）
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 参考図書 学研：看護技術プラクティス 医学書院：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術
備考	既習関連科目：人間関係論、微生物学講義、基礎看護学概論